

よむぞうタイムズ 83号

3年生 4年生

狭山市立図書館 2022.3.1発行

「ウィリーはとくべつ」(EFロ)

ノーマン・ロックウェル/絵とお話
谷川 俊太郎/訳 紀伊国屋書店



ウィリーはほかのツグミとまったくちがっていた。自由で新しいウィリーの歌は人々をぎょうてんさせた。美しい声で自分だけの歌をうたった特別なツグミの物語。



「0じいさんのチェロ」(ECコ)



ジェーン・カトラー/作 グレック・コーチ/絵
タケカワ ユキヒデ/訳 あかね書房

戦争でメチャメチャにされてしまったまち。そんなまちの広場で、ある日嫌われ者のおじいさんがチェロを弾き出した。どんな時も勇気や希望をくれる。それが音楽なんだ。

でかぞうクラブ

「まほうのわ」の実験とおはなし会

日時：3月27日(日) 14:30~15:30

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：小学3~6年生 定員：8名 費用：無料

申込み：3月19日(土) 10:00から狭山台図書館へ(電話可)

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、日程変更や中止の場合もありますので、図書館のホームページをご確認ください。

図書館のホームページから、読みたい本の予約ができます。休館日や開館時間、イベント等の最新情報もこちらからご確認ください。

狭山市立中央図書館 ☎ 04-2954-4646

狭山市立狭山台図書館 ☎ 04-2958-3801

狭山市公式HP <http://www.city.sayama.saitama.jp/>



「ぼくとオーケストラ」(EEホ)



アンドレア・ホイヤー/絵・文 宮原 峠子/訳
河合楽器製作所

オーケストラのえんそうってすごいんだよ。いくつもの楽器の音が重なりあって、すばらしいハーモニーになっていく。でも、音楽を完成させるのは楽器だけじゃない。たくさんの人たちの思いが一つになって、最高のパフォーマンスがうまれるんだ。

シリーズ

「ぼくと楽器はくぶつかん」(EEホ)

「ぼくとオペラハウス」(EEホ)

もあります



くさやまの100冊>



「子どものときに読みたい本100冊」(さやまの100冊)は、教育委員会がおすすめしている本です。ぜひ、読んでみてください。

「歌うねずみウルフ」(JSキ)

ディック・キング=スミス/作
三原 泉/訳
杉田 比呂美/絵 偕成社

ピアノが上手なおばあさんの家には、歌うねずみが住んでいる。おばあさんのピアノにあわせて楽しく歌うねずみ。そんなある日、おばあさんに一大事が起こった。音楽が結んだ、ねずみとおばあさんの



友情の物語。



「セロひきのゴーシュ」(JPミ)

宮沢 賢治/作 茂田井 武/画
福音館書店



楽団でセロを弾いているゴーシュ。思い通りのえんそうができなくて、楽長にしかられてばかりいる。

そんなゴーシュのもとに三毛ねこが突然やってきた。次々と動物たちがたずねてくるようになると、ゴーシュのえんそうに変化がおき始める。本気で何かに取り組む姿は人の心を動かすよ。



「わすれものの森」(JPオ)

岡田 淳/作 浦川 良治/作 BL出版

明日は音楽会。ツトムは吹きなれた笛をなくしたことに気がついた。

持ち主からわすれられたものは「わすれものの森」へ集められると知ったツトムは、森へ向かって出発する。さあ急げ、大切な笛を探しに行くんだ！



「運命のオーディション」(JSシ)

スーザン・シュリーブ/作 久米 穰/訳
むかい ながまさ/絵 文研出版

エリザの夢は、中学校のミュージカルで主役になること。でも、最近では自分に自信が持てなくて、オーディションをあきらめようとしていた。そんな時、耳の不自由な親友ルーシーがオーディションを受けると聞いた。親友の勇気が、エリザの気持ちを変えていく。



「こぐまくんのハーモニカ」(EEウ)

ジョン・セバスチャン/作
ガース・ウィリアムズ/絵 三木 卓/訳
リポート

ハーモニカが上手になったこぐまくん。みんなはとてもほめてくれる。けどほめ言葉は「お父さんみたいに上手だね」ばかり。お父さんのハーモニカはすばらしい。でも「ぼくの、ぼくだけのうたがあるはずだ！」
小さなえんそう家、こぐまくんのお話。



「わすれんぼライリー、大統領になる！」(JSミ)

クラウディア・ミルズ/文 三辺 律子/訳
R.W.アラー/絵 あすなろ書房

ライリーの夢はサクソ奏者になること。けれどお金がなくて楽器を買うことができない。こんな時、アメリカ大統領ルーズベルトだったらどうしただろう。ライリーは伝記を読んで考えた。あきらめないで夢のために行動を起こすんだ！

